

	宇美町スポーツ少年団 加盟促進リーフレット	宇美町スポーツ少年団 〒811-2121 宇美町平和1-1-1 宇美町住民福祉センター内 携帯 090-9573-1988 ☎ 092-933-2784 Fax 092-933-2741 メール umi-machi.j.s.c.a@leo.bbq.jp 編集:スポーツ少年団事務局
---	---	---

宇美町スポーツ少年団に加盟して 一緒に活動しませんか

スポーツ少年団の理念

- ①一人でも多くの青少年にスポーツの
喜びを提供する
- ②スポーツを通じて青少年の心と体を
育てる
- ③スポーツで人をつなぎ、地域づくりに
貢献する



宇美町スポーツ少年団の
マスコットキャラクター
ジャンプ君です
みんな仲良くしてね！

宇美町スポーツ少年団は、新しく仲間に加わるスポーツクラブを大歓迎します。
まだ宇美町スポーツ少年団に加盟していない少年スポーツクラブの指導者の皆さん、私たちと共に子ども達の輝く未来のために一緒に活動しませんか。

宇美町スポーツ少年団ってどんな団体!?

目的・趣旨

宇美町スポーツ少年団は、学校教育外で、スポーツ活動を通じて青少年の心身の健全育成を目的とする団体です。

現在13種目24の単位スポーツクラブが加盟し、3歳から19歳までの団員やリーダー約650人、指導者約150人（内公認有資格指導者111人）が登録しています。

糟屋地区でスポーツ少年団があるのは宇美町だけです。

宇美町スポーツ少年団本部では、単位スポーツ少年団が活動しやすいよう環境整備や連絡調整を行うと共に、指導者やリーダーの育成、そして団員の拡大に力を入れて各種事業に取り組んでいます。

上部団体

「スポーツ活動を通じて青少年の心と体を育てる組織を地域社会の中に！」と願い、（公財）日本スポーツ協会が1962年に設立した日本スポーツ少年団は、日本で最大の青少年スポーツ組織であり、全国で約32,000団、団員約53万人、指導者約20万人が登録しています。

宇美町スポーツ少年団は、福岡県スポーツ少年団を通じて日本スポーツ少年団に登録しています。

宇美町スポーツ少年団に加盟すると、日本スポーツ少年団の事業をはじめ、九州ブロックや福岡県、福岡地区の事業に参加することができるようになります。



全体交流(シッパス活動)会



九州ブロックスポーツ少年大会
In熊本でペーロン体験



福岡県ジュニアリーダースクール
での野外炊飯

宇美町スポーツ少年団は共に活動する単位スポーツクラブを大歓迎します

宇美町スポーツ少年団本部主催事業

宇美町スポーツ少年団本部では、スポーツ活動を通じた青少年の健全育成を進めるために、本部事業として以下の事業を行っています。単位団(スポーツクラブ)の発展のためまた、中学校部活動地域移行を円滑に進めるために多く参加をお待ちしています。

①指導者・母集団研修会

指導者や育成母集団の資質向上のための講習会で、AEDを使った救急蘇生講習、テーピング講習、スポーツ傷害講習、コーチング講習、スポーツ栄養学講習、アクティブチャイルドプログラム講習等を行っています。



デフサッカー日本代表 松元卓巳さんの講演

②公認指導者養成講習会

スポーツ少年団や部活動指導者は子ども達(生徒)の命を預かっているという意識をもって指導しなくてはなりません。

その第一歩が公認指導者資格の取得で、宇美町で講習会を開催し公認指導者を育成しています。



スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

③全体交流(シップス活動)会

異なる種目や他の団員との交流をはかるために、宇美町スポーツ少年団では、各種レクリエーション種目を取り入れた全体交流会(シップス活動交流会)開催しています。友達が沢山できることが最大の魅力です。



二種類のボールを使う いろいろドッジボール

④公認ジュニアリーダースクール

各単位団で指導者と一般団員とのパイプ役となり、目標に向かって団員をまとめる役割を担う公認ジュニアリーダーや、将来の指導者としての活躍が期待される公認シニアリーダーの育成に力を



野外炊飯ではカレーライスを作ります

⑤熱中症予防講習会

スポーツ少年団活動の中で最も注意すべき熱中症対策には特に力を入れて取り組んでいます。

全体交流会終了後の講習会をはじめジュニアリーダースクールでも取組んでいます。



大塚製菓の協賛で熱中症予防講習会を開催

⑥全体奉仕活動

スポーツ少年団員の奉仕の精神を育て、地域の一員としての自覚を促していくために、毎年6月を全体奉仕月間と定め、普段練習や試合で利用している施設や周辺の清掃活動を行っています。



団員・指導者・育成母集団全員での清掃活動

⑦運動適性テストⅡ

運動適性テストは、団員の体力を把握し、安全で適切な指導を実施する上で大切な活動と位置付けています。

各単位団で実施し、本部にて記録しフィードバックしてデータを活用してもらっています。



運動適正テストⅡの立ち幅跳び

⑧全国・九州・県事業への派遣

宇美町スポーツ少年団は日本スポーツ少年団に加盟しており、全国や九州ブロック、福岡県、福岡ブロックの事業に参加できます。

全国に共に頑張る友達ができるのもスポーツ少年団の魅力の一つです。



九州ブロックスポーツ少年大会

⑨充実した教育宣伝活動(機関紙発行とSNSの活用)

団員同志そして指導者と育成母集団をつなぐとともに、各単位団でのユニークな取組や、本部主催事業、各種大会の様子を紹介する機関紙「ジャンプタイムス」を年3回発行し、町立小中学校の全児童・生徒、先生方、保育所の年中児以上のご家庭に配布しています。

また、ホームページやFacebookによる情報発信も行っています。



👉 ホームページはこちら



👉 Facebookはこちら

部活動地域移行のキーポイント 宇美町スポーツ少年団リーダー会活動

宇美町スポーツ少年団では、小学5年生から19歳の団員を対象にしたリーダー会を設置し現在約25人のリーダーが所属しています。

リーダー会の目的は、①社会が必要とする人材の育成。②指導者と一般団員をつなぐ役割を担う。③将来の指導者育成。④単位団及び町団の活性化とし、国内交流だけにとどまらず国際交流活動等に楽しく取り組んでいます。

部活動の地域移行においても、単なる技術指導ではなく、**人材の育成こそ大切にすべき課題**であり、リーダー会活動は部活動地域移行のキーポイントとなる活動です。



活発で意欲的な仲間が増えました

スポーツは私たちが結ぶ 宇美町スポーツ少年団が取り組む国際交流活動

国際感覚豊かなリーダーを育成するために、スポーツ少年団は国際交流活動に力を入れています。スポーツ少年団リーダー会に入って活動が続けていけば、18日間の日独スポーツ少年団同時交流に参加するチャンスが広がります。

①日独スポーツ少年団同時交流

ドイツスポーツユースとの交流は、日本スポーツ少年団が50年にわたり続けており派遣と受入を同時に行っています。令和5年度は、宇美町スポーツ少年団がドイツのノルトライン・ヴェストファーレン州の団員を受入しました。

ドイツへは毎年約100人が派遣されており、感受性が豊かな高校生や大学生の時期に世界に触れることができる大きなチャンスです。

高校1年生で公認シニアリーダー資格を取得し、高校2年の時にドイツに行くことをおすすめしています。



②日韓青少年スポーツ交流

宇美町スポーツ少年団では、これまでに「うみだすこ日韓青少年交流事業」を続けてきました。野球交流やテコンドーと空手や合気道との異種目交流を実施してきました。

来年は韓国の野球チームが宇美町に来る予定で、素敵な交流が実現できるように準備を進めています。



空手とテコンドーの異種目交流



言葉は通じなくてもすぐに仲良くなるよ

③日中青少年スポーツ団員交流

日本スポーツ少年団では、日中交流も行っており、平成30年に中国の湖北省に団員8人、指導者1人を派遣し、翌年には湖北省から団員30人が宇美町を訪れ、レク交流をはじめ和太鼓や空手・剣道で交流を深めました



日中交流で湖北省に8人のリーダーを派遣



日中交流受入で宇美太鼓と和太鼓体験交流

その他の情報は公式ホームページをご参照ください

宇美町スポーツ少年団は日本スポーツ少年団に加盟しており全国に約57万人も仲間がいるんだよ

宇美町スポーツ少年団に加入するメリット

①指導者の資質向上と公認有資格指導者の養成

部活動の地域移行が大きな話題となっており、一番の課題は**生徒の安全確保と技術面での適切な指導**がなされるかどうかです。

そのためには、公認資格を有する指導者が配置されたクラブであることが大変重要です。

このことは中学校の部活動にも同じことが言え、中学校の教職員が就任する顧問も外部指導者も同様に、適切な講習会を受講した公認有資格指導者でなくては指導することができない体制が望まれています。

今後は無資格指導者は部活動関連の指導ができなくなると予想されています。

また、有資格指導者を配置できていない地域クラブは、**施設の定期利用枠が確保できなくなる**また、**施設利用の減免既定の適用から除外**されることが検討されています。

スポーツ少年団では**年2回の指導者・母集団研修の開催**に加え、公認資格である「**スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会**」を宇美町で開催しており、しかも安価に資格を取得できる体制を整えています。

また、指導者が更に上位の公認資格を取得する際には補助を出して支えています。



南部消防本部防災センターにおいてAEDを使った救急蘇生法実技講習会



福岡大学スポーツ科学部の乾教授による「育て上手のコーチング」講演会

②良好な単位団(クラブ)運営のために

スポーツ少年団の理念に「スポーツ活動を通じて青少年の心と体を育てる組織を地域社会の中に!」とあります。

自宅から徒歩圏内にある施設でスポーツ活動ができる環境を整備するとともに、費用負担についても、月額の手費が概ね2,500円以下に抑えられると兄弟児でも安心してスポーツ少年団活動に参加できると思われます。

宇美町スポーツ少年団では、単位団に対し、町からの運営補助金を活用し、単位団運営補助金を拠出して単位団運営を支えています。

部活動の地域移行においても、部活動生はこれまでに無償で活動してきたため、スポーツ少年団に所属する中高生団員に対する支援については、町当局にしっかり求めていきたいと考えています。

令和5年単位団運営補助金交付実績

- *基礎額 一律 30,000円
- *指導者手当 一律 20,000円
- *加重額
 - 公認指導者一人当たり 2,500円
 - 団員一人当たり 1,000円
- *公認指導者2名 団員25名の場合
年間80,000円の運営助成金を交付しています

③本部共催事業(各種カップ戦や種目別交流大会)に対するサポート

カップ戦や各種トーナメント大会などの種目別の交流大会が各地で開催されています。

これらの大会を開催するには大変な労力が必要となり、特に会場の確保は費用負担以外に、他団体との調整にも時間を要し、大会を開催したいが二の足を踏んでしまう要因です。

宇美町スポーツ少年団では、加盟する各単位団との共催事業として、種目別の交流大会の支援を行っており、資金面では30,000円を支援するとともに、会場確保にも支援を行い、令和5年度は16もの大会が開催され、4,000人以上が参加しました。

④団員拡大で単位団を最大限サポート

宇美町スポーツ少年団では、団員の拡大に力を入れており、機関紙ジャンプタイムスの発行、各種リーフレットの発行、ホームページやFacebookページの充実と単位団

との連携に取り組んでいます。

機関紙ジャンプタイムスは、組織を引っ張る機関車の役割を果たし、全ての児童・生徒・教員・保護者が手に取っています。